

第2期子ども・子育て支援事業計画に基づく確保方策の見通しについて

1 教育・保育施設における令和6年度の受入状況について

			量の見込み	確保方策		受入実績 -目標値	利用定員	利用定員 -受入実績
				目標値	受入実績			
令和6年度	1号	幼稚園（新制度）	—	435	407	▲28	440	—
		認定こども園	—	1,481	1,103	▲378	1,439	—
		幼稚園（私学）	—	310	262	▲48	310	—
		計	2,176	2,226	1,772	▲454	2,189	—
	2・3号	3～5歳	1,363	1,531	1,673	142	1,539	134
		1・2歳	810	949	930	▲19	930	—
		0歳	427	360	296	▲64	294	2
		計	2,600	2,840	2,899	59	2,763	136

※1 受入実績については、令和7年1月1日時点の実績

2 3号認定子どもの推移について

	0歳児				1・2歳児			
	人口	入所希望者数 (※)	受入実績 (※)	差引	人口	入所希望者数 (※)	受入実績 (※)	差引
R2	1,097	442	236	206	2,470	864	779	85
R3	1,112	471	265	206	2,336	910	844	66
R4	1,021	466	277	189	2,257	946	853	93
R5	889	448	290	158	2,150	956	899	57
R6	861	370	296	74	1,919	956	930	26

(※) 入所希望者数と受入実績は各年度末現在の実績、令和6年度のみ令和7年1月現在の実績

3 令和6年度における確保方策の見通しについて

学齢	確保方策の現状
1号認定	目標値に対する利用定員は確保できていないものの、幼児教育に対するニーズの変化により、希望者全てを受け入れる利用定員が確保されている
2号認定 (3～5歳児)	目標値に対する利用定員は確保されており、保育ニーズの高まりに各施設が対応していただき、利用定員を上回る受入れが実現されている
3号認定 (1・2歳児)	目標値に対する利用定員には届いていないが、利用定員上限の受入れによって入所待ち児童数は前年と比較し半減する見通し
3号認定 (0歳児)	目標値に対する利用定員には届いていないが、利用定員上限の受入れによって入所待ち児童数は前年と比較し半減する見通し



- ・ 1、2号（3～5歳）については、令和6年度目標値を上回る確保方策に見通しの目途が立っている
- ・ 3号については、令和6年度目標値の達成は難しいが、出生数の減少及び各施設のご努力により入所保留児童は前年比で約△50%となる見通しである